

# 小山博也教授略歴（小山博也教授河中二講教授立田清士教授退職記念号）

雑誌名	山梨学院大学法学論集
巻	38
ページ	369-386
発行年	1997-07-25
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1188/00000794/">http://id.nii.ac.jp/1188/00000794/</a>

## 小山博也教授略歴

大正一四年九月

昭和二〇年三月

昭和二三年三月

昭和二三年四月

昭和二八年八月

昭和二八年九月

昭和三五年一月～一〇月

昭和四〇年四月

昭和四〇年四月～五五年三月

昭和四一年五月～七月

昭和四二年四月

昭和四二年四月～四四年三月

昭和四二年四月～四四年三月

昭和四四年一月～四六年一〇月

北海道に生まれる

山形高等学校文科乙類卒業

東京大学法学部政治学科卒業

東京大学社会科学研究所助手

大学設置審議会助教授（政治学・政治史）認定

埼玉大学文理学部助教授

埼玉大学学寮主事

埼玉大学経済学部助教授（配置換）

中央大学法学部非常勤講師

ソビエト連邦及びユーゴスラビア等へ出張

埼玉大学経済学部教授

埼玉大学評議員

専修大学法学部非常勤講師

埼玉大学学生部長

昭和四八年三月～五月

ドイツ連邦共和国・連合王国・アメリカ合衆国等へ出張

昭和五〇年四月～五八年六月

埼玉大学評議員

昭和五〇年一二月

ドイツ連邦共和国へ研修旅行

昭和五一年四月～五五年三月

群馬大学教育学部非常勤講師

昭和五四年七月～五八年六月

埼玉大学経済学部部長

昭和五六年四月～五八年三月

埼玉大学教務委員会委員長

平成一年四月

中華人民共和国研修旅行

平成二年五月

中華人民共和国研修旅行

平成三年三月

定年退官

平成三年四月

山梨学院大学法学部教授

平成三年三月

中華人民共和国研修旅行

平成四年四月～七年三月

山梨学院大学社会科学研究所長

平成五年

中華人民共和国研修旅行

平成六年一月

中華人民共和国研修旅行

平成八年八月

中華人民共和国研修旅行

〃 一一月

中華人民共和国研修旅行

平成九年三月

山梨学院大学退職

その他

埼玉県公害審議会委員（現 環境審議会委員）

埼玉県労働者教育審議会委員

埼玉県勤労者福祉財団理事

埼玉県婦人対策審議会委員（現 女性対策審議会委員）

埼玉県長期構想審議会委員

埼玉労働基準審議会委員

埼玉最低賃金審議会委員

埼玉県議会史編集委員

埼玉県人物誌編集委員

埼玉県史編集委員

浦和家庭裁判所家事・民事調停委員

埼玉県弁護士会綱紀委員

埼玉平和資料館運営協議会委員

## 小山博也教授業績

### 〔著書〕

『明治政党组织論』東洋経済新報社、昭和四〇年六月

『政治学概論』宗文館書店、昭和四八年一月

『埼玉県政と知事の歴史的研究』新興出版社、平成八年三月

### 〔共著〕

『講座日本近代法発達史―資本主義と法の発展―』第二巻、勁草書房、昭和三三年三月

『地方自治と住民参加』中央大学出版会、昭和四九年三月

『日本政治の実力者たち―リーダーの条件―』第一巻、有斐閣、昭和五五年七月

『日本の内閣（二）』新評論、昭和五六年五月

『日本のリーダー政党政治の雄』第二巻、T・B・Sブリタニカ、昭和五八年四月

### 〔編著〕

『川越市史』第五巻、現代編川越市、昭和四七年三月

『川越市史』第四卷近代編、同右、昭和五三年三月

『川越市史』第五卷現代編、同右、昭和五六年一二月

『埼玉県の百年』山川出版、平成二年四月

『さいたま女性の歩み』(上)(下)埼玉県、平成五年三月

〔監修・編集・執筆せるもの〕

『埼玉県議会史』第七卷 埼玉県議会、昭和四七年三月

〃 第八卷 〃 、昭和四九年三月

〃 第九卷 〃 、昭和五一年三月

〃 第一〇卷 〃 、昭和五三年三月

〃 第一一卷 〃 、昭和五八年三月

〃 第二二卷 〃 、昭和六一年三月

〃 第三三卷 〃 、平成元年三月

〃 第一四卷 〃 、平成四年三月

〃 第一五卷 〃 、平成七年三月

『埼玉県議会百年史』埼玉県議会、昭和五五年三月

『新編埼玉県史』資料編一九 埼玉県、昭和五八年三月

- 〃 〃 二〇 〃 〃 昭和六二年一月  
 〃 通史編六 〃 〃 平成元年三月  
 〃 七 〃 〃 平成三年三月  
 『埼玉県行政史』第三卷 埼玉県、昭和六二年一月  
 第四卷 〃 〃 昭和六三年九月  
 第一卷 埼玉県、平成元年一〇月  
 〃 〃 〃 〃 平成二年三月

## 〔翻訳〕

- イ・ドヴォルキン『現代帝国主義と独占資本』岩崎書店知識文庫、昭和二九年四月  
 カール・フリードリッヒ『現代政治』理想社、昭和三九年四月  
 アンドルー・ロス『日本のジレンマ』新興出版社、昭和四六年九月  
 トム・ボットモア『政治社会学入門』新評論、昭和五七年四月

## 〔共訳〕

- ベ・ロドフ『太平洋戦争前史』岩崎書店、昭和二八年一〇月  
 イエ・ジュニコフ『日本帝国主義の歴史と本質』岩崎書店知識文庫、昭和二九年二月

〔論文〕

「条約改正をめぐる初期政党」『社会科学研究』第三卷 第三号、東京大学社会科学研究所、昭和二七年六月「立憲政治」『日本歴史』第一一巻 有精堂、昭和五〇年九月

「幕末薩摩藩の維新運動とその背景」『埼玉大学紀要』社会科学編、第四巻、昭和三〇年

「明治前期における地租軽減論の展開―自由党をめぐる―」『社会科学研究』第七巻 第六号、昭和三一年八月

「条約改正問題と貿易政策―明治初期の改正論議を通して―」『埼玉大学紀要』社会科学編、第六巻、昭和三二年

「(立憲)自由党の組織とそれをめぐる論争―総理板垣退助とその周辺―」『埼玉大学紀要』社会科学編、第七巻、

昭和三三年

「立憲政友会の成立と総裁伊藤博文―いわゆる総裁独裁制をめぐる―(一)」『埼玉大学紀要』社会科学論集、

第五号、昭和三五年三月

「日本社会党設立時の地方組織―埼玉県の場合―」『社会科学研究』第二四巻 第一号、昭和三七年八月

「制限選挙制度下における政党支部組織―埼玉県政友会支部について―政治と公法の諸問題」東京大学出版会、

昭和三八年四月

「立憲政友会の成立と総裁伊藤博文―いわゆる総裁独裁制をめぐる―(二)」『埼玉大学紀要』社会科学論集、

第一四号、昭和三九年十二月

「政党政治家の思考様式―犬養毅の場合―近代日本の政治指導 政治家研究」東京大学出版会、昭和四〇年二月



「制限選挙制度下における選挙行政と政党の選挙運動（一）」『埼玉大学紀要』社会科学論集、第一七号、昭和四一年三月

同右（二）同上第一八号、昭和四一年一〇月

「マックス・アドラーの認識批判論とその政治学（一）」『埼玉大学紀要』社会科学論集、第二二号、昭和四三年九月

「ドイツ共産党の設立とその法理 農村と労働の社会学―磯田進教授還暦記念―」一粒社、昭和五〇年一〇月  
 「選挙区の考察Ⅱ埼玉一区 一九七六年日本の総選挙―ロッキード選挙と共産党の敗北―」国民政治研究センター、昭和五四年四月

「第一次松方内閣―選挙干渉で揺れ動いた内閣―日本の内閣史録」第一法規出版、昭和五六年八月

「第二次松方内閣―超然主義を放棄して戦後経営に賭けた内閣―」同右

「歴代知事―人と業績―（その二）第一七代岡田忠彦」埼玉県史研究 第二二号、昭和五八年十一月

「第七回総選挙の分析―埼玉県の場合―」同右、第一三号、昭和五九年三月

「歴代知事―人と業績―（その二）第二三代、第二八代、宮脇梅吉」同右

「政党法の審議経過と問題点」『月刊社会党』昭和五九年七月

「歴代知事―人と業績―（その三）第三〇代広瀬久忠」『埼玉県史研究』第一四号、昭和六〇年一月

「歴代知事―人と業績―（その四）第三三代川西実三」同右、第一五号、昭和六〇年三月

「第一国会における政党法制定計画の経過」『埼玉大学紀要』社会科学論集、第五五号、昭和六〇年三月

- 「歴代知事―人と業績―（その五）第三四代土岐銀次郎」『埼玉県史研究』第一六号、昭和六〇年一月
- 「歴代知事―人と業績―（その六）第一五号添田敬一郎」同右、第一七号、昭和六一年三月
- 「歴代知事―人と業績―（その七）第一四号嶋田剛太郎」同右、第一八号、昭和六一年二月
- 「歴代知事―人と業績―（その八）埼玉県知事研究の序」同右、第二〇号、昭和六三年一月
- 「歴代知事―人と業績―（その九）第一九代堀内秀太郎」同右、第二一号、昭和六三年三月
- 「歴代知事―人と業績―（その一〇）第二六代丹羽七郎」同右、第二二号、昭和六三年二月
- 「歴代知事―人と業績―（その一一）第三六代大津敏男」同右、第二三号、平成元年三月
- 「歴代知事―人と業績―（その一二）第二二代木下周一」同右、第二四号、平成二年一月
- 「歴代知事―人と業績―（その一三）第八代宗像政」同右、第二五号、平成二年三月
- 「歴代知事―人と業績―（その一四）第二二代斎藤守圀」同右、第二六号、平成三年三月
- 「唐沢堀問題と直訴事件」『埼玉大学紀要』社会科学論集、第七二号、平成三年三月
- 「近代日本の政治と天皇」『法学論集』第二〇号 山梨学院大学法学研究会、平成三年一二月
- 「明治初期の末端地方行政組織―埼玉県の場合」『法学論集』第二二号 山梨学院大学法学研究会、平成四年
- 「歴代知事―人と業績―（その一五）第二代県令白根多助」『埼玉県史研究』第二九号、平成六年三月
- 「歴代知事―人と業績―（その一六）第三七代数藤鉄臣」『埼玉県史研究』第三〇号、平成七年二月
- 「歴代知事―人と業績―（その一七）第三八代福本柳一」『埼玉県史研究』第三一号、平成八年三月
- 「歴代知事―人と業績―（その一八）第三二代飯沼一省（一）」『埼玉県史研究』第三二号、平成九年三月

「犬養毅（木堂）の対中国観」『法学論集』第三七号 山梨学院大学法学研究会、平成九年三月

〔叢説と資料〕

「基本法第二一条と共産党の禁止―その裁判記録を中心に―」『埼玉大学紀要』社会科学論集、第六号、昭和三五年一月

「西ドイツ政党法案の構成とそれに対する批判について」同右、第一〇号、昭和三七年一月

「政党と資金―西ドイツ政党法の問題点について―」同右、第二四号、昭和四四年三月

「ドイツ基本法第二一条の立法過程」同右、第三八・三九号、昭和五二年一月

「アウストロ・マルキシズムとM・アドラー」同右、第四三号、昭和五四年三月

「河野広中獄中書翰」同右、第四六号、昭和五五年二月

「鳥谷部春汀、若き日の書簡」『社会科学研究』第九号、山梨学院大学社会科学研究所、平成四年三月

「鳥谷部春汀、若き日の人物論」『社会科学研究』第一一号 山梨学院大学社会科学研究所、平成五年三月

〔書評〕

「ザハール・ハイデドイツ諸政党の社会学」『社会科学研究』第九卷 第三号、昭和三二年一月

「U・ローマル党内デモクラシー―R・ミルズの『寡頭制の鉄則』によせて」『埼玉大学紀要』社会科学論集、第一六号、昭和四〇年二月

「トム・ボットモアの政治社会学」同右、第四八号、昭和五五年十二月

「坂井雄吉『井上毅と明治国家』」週刊読書人、昭和五八年一月一四日

「酒田正敏『近代日本における対外交運動の研究』」週刊読書人、昭和六二年三月一日

〔その他〕

「自由民権運動『政治学事典』平凡社、昭和二九年五月

「政治史―研究のための課題と資料」図書新聞、昭和三〇年五月一四日・二二日・二八日、六月四日号

「枢密院」『世界歴史事典』第一〇巻平凡社、昭和三〇年八月

「労働立法」同右第二〇巻、昭和三〇年二月

「初期議会における政府と政党、日清戦争、尾崎行雄と共和演説」『日本資料集成』平凡社、昭和三二年一月

「大正、昭和初期の労働運動」『社会科学教室』、昭和三六年二月号

「福祉国家的状況とオポジション」『社会科学教室別冊』、昭和三六年

「飯野喜四郎手記 埼玉県政友会支部記録（上）」『社会科学論集』第一二号、昭和三八年一月

同上（下）同上、第一三号、昭和三九年三月

「婦人の生活とその態度―調査と分析」埼玉県地域婦人連合会、昭和三九年一月

「今日の議会と政党」『社会科学教室』、昭和四三年三月号

「政治と政治学の意義について」『社会科学教室』、昭和四六年一月号

- 「埼玉県民における政治と選挙についての意識調査」埼玉県選挙管理委員会、昭和五一年三月
- 「市民生活と自治意識 大宮市市民意識調査報告書」、昭和五一年三月
- 「地域的にみた県民の政治と選挙についての意識」『埼玉自治』、昭和五一年六月号
- 「国民生活と政治技術・家庭教育」第二九卷第一号、昭和五三年一月号
- 「政治学の自立」『楡ノ木』楡ノ木会、昭和四一年一月号
- 「国會議員の今昔」同右、昭和四二年六月号
- 「選挙制度の一試論」同右、昭和四二年一二月号
- 「ある選挙費用覚書」同右、昭和四六年六月号
- 「ドイツ社会民主党大会」同右、昭和四八年一一・一二月号
- 「西郷隆盛と沖永良部島」『北葉』第七号、昭和五三年九月
- 「吉田松陰―その性格と行動様式」『泉』第二六号、文化総合出版、昭和五四年一月
- 「河野広中の獄中日記」『北葉』第二〇号、昭和五五年一月
- 「秩父事件における禊教の弊について」『北葉』第二八号、昭和五七年三月
- 「M・アドラー研究の背景」『泉』第四〇号、昭和五八年五月一日
- 「犬養毅」『ブリタニカ国際大百科事典』二巻、昭和四七年六月
- 「政治、革命」『教育経営事典』帝国地方行政学会、昭和四七年一月
- 「政党政治家犬養毅と原敬（上）（中）（下）」『山陽新聞』、昭和五七年五月二六日～二八日

「最後の明治人、犬養毅」『世界日報』、昭和五八年五月一日

「戦後民主主義はどのような方向で進められたか、社会党内閣はなぜ短命に終わったか」『日本歴史の視点』四巻  
日本書籍、昭和四八年一〇月

「天皇と祭祀」『マスコミ市民』日本マスコミ市民会議、昭和六三年四・五月号

『埼玉県議会小史』「さいたま県議会だより」

「埼玉県議会のおいたち」、昭和五六年十一月五日

「早くも始まった党派争い」、昭和五七年四月二五日

「地域的対立と県会」、昭和五七年八月八日

「帝国議会と県会」、昭和五七年十一月七日

「硫酸事件」、昭和五八年一月二三日

「日清戦争下の帝国議会と県会」、昭和五八年四月二四日

「議会機能と議席配置」、昭和五八年八月二一日

「知事と県会」、昭和五八年十一月六日

「普選下初の県会議員選挙」、昭和五九年一月二二日

「新体制下の県会」、昭和五九年四月二九日

『県会史上の人びと』「さいたま県議会だより」

「治水にかけた斎藤祐美」、昭和五九年九月二日

「最初の政党人・加藤政之助」、昭和五九年一月一日

「政友会（埼玉県支部）の裏方・飯野喜四郎」、昭和六〇年一月二七日

「初代県会議長・竹井澹如」、昭和六〇年八月四日

「戦後県議会議員の長老・染谷清四郎」、昭和六〇年十一月一〇日

「埼玉県会議員から官選知事へ・湯本義憲」、昭和六一年八月一七日

「県政の元老から市長へ・井出兵吉」、昭和六一年一月九日

「県議一期にして議長・宮崎一」、昭和六二年一月二五日

「廃娼運動の先駆者・山内庫之助」、昭和六二年八月二日

「『流入族』政治家・大島寛爾」、昭和六二年一月八日

「文学者・政治家・哲学者・石坂養平」、昭和六三年一月二四日

「清廉・潔白・徳望の政治家・粕谷義三」、昭和六三年九月一日

「『維新の功臣』としての名望家・根岸武香」、昭和六三年一月六日

「埼玉県会議員の社会的属性」昭和六四年一月二二日

『事件・政策と議会』「さいたま県議会だより」

「秩父事件と県会」、平成元年八月六日

「埼玉廃県問題」、平成元年一月一五日

「県立医学校・病院の廃止」、平成二年一月二八日

「廃娼問題と県会」、平成二年八月五日

「教育問題と県会」、平成二年十一月一日

「犬養毅と尾崎行雄」『犬養毅と尾崎行雄特別展展示目録』憲政記念館、平成三年三月

「自由民権運動、條約改正」『現代政治学事典』大学教育社、平成三年

〔新聞寄稿〕

(1) 埼玉新聞

(イ) ひびき欄

かわらない県の体質、昭和六二年一〇月三一日

警察と市民社会、昭和六三年二月二日

公的なものと私的なもの、昭和六三年六月三一日

裁判所はちいか、昭和六三年八月二三日

浦和は死のまちに？、昭和六三年一月九日

議会があるから議会制民主主義なのではない、平成元年一月二八日

保護観察人を老人介護に、平成元年四月一五日

免囚保護院設立を回顧する、平成元年八月一九日

変化を余儀なくされる大学運動部、平成元年一〇月二五日

中国、その社会が流動している、平成二年一月一六日



バッチ考現学、平成二年三月三日

偽満州と日本、平成三年一月二二日

中国経済を見て、平成四年九月二七日

(ロ) 標点欄

五・一五事件、平成七年五月一二日

孫文もう一つの顔、平成七年七月二六日

大学の今後、平成七年一〇月四日

幕末川越藩一家老職の運命、平成七年一月五日

「差不多」の政治、平成八年三月一日

労働時間短縮、平成八年五月八日

政治不信の行方、平成八年七月二四日

中国訪問の印象、平成八年一〇月九日

中国の政治学、平成八年一月二八日

萩原汎愛の事、平成九年三月七日

(2) その他

地方自治をかんがえる 朝日新聞埼玉版、昭和四七年四月一四日

政治的用語 新埼玉、昭和四五年一月二七日

変わった県民意識 東京新聞埼玉版、昭和五六年五月三日

主体性を発揮した県民 同右、昭和五八年一月二二〇日

県議選をふりかえって 埼玉新聞、平成三年四月一〇日

開花する地方自治 読売新聞埼玉版、昭和五四年四月四日

二〇代の関心度に微妙な変化 読売新聞埼玉版、昭和五五年六月一九日

脱故郷の精神 現代の眼、昭和五三年七月一日

(3) 潮流ジャーナル（ベース・ボールマガジン社）

混同された公務と党務、昭和四二年五月

危険な官僚の政治化、昭和四二年六月

地域別懇談会の流産、昭和四二年七月七日

日本人における多数決原理、昭和四二年八月六日

〔教科書〕

海後宗臣編『新しい社会科中学三年 下』東京書籍、昭和二七年六月一〇日

『新しい社会 五』同右、昭和二九年五月一〇日

『新編新しい社会 六』同右、昭和三二年一月一〇日

『新しい社会 三』同右、昭和三七年一月一〇日

岡田謙編『中学生の社会科 現代の社会』中教出版、昭和三七年一月一五日

岡田謙・山中篤太郎・山本登編『新版中学生の社会科 現代の社会』同右、昭和三八年一月一五日

山中篤太郎・鵜飼信成・葛井義夫編『高等学校社会科社会』同右、昭和三八年二月二五日

山中篤太郎・鵜飼信成編『新編政治・経済』同右、昭和四二年一月一五日

『高等学校政治・経済第三学年用』同右、昭和四二年二月二五日

山中篤太郎・鵜飼信成編『最新版政治・経済』同右、昭和四六年二月二五日

山中篤太郎・伊藤正巳・山本登編『中学校の社会科現代の社会（公民）』同右、昭和四七年一月一〇日

『中学生の社会科現代社会（公民）』同右、昭和五五年三月三一日

『現代社会』同右、昭和五七年二月一〇日

小山博也・地主重美外編『改訂版政治・経済』同右、昭和六三年三月三一日

『高等学校社会科社会指導書』同右、昭和三五年五月一五日

『高等学校政治・経済研究―教授資料』同右、平成元年三月